

天高く馬肥ゆる、稔りの秋の到来です。

デイサービス八重桜本店

「暑さをふっとばせ!! 八重桜 夕涼み会!!!」



残暑の残る中、八重桜本店で暑さを吹き飛ばす夕涼み会を開催致しました。

「氷水顔つけゲーム」で、顔の火照りを冷ますのに、氷水からなかなか顔を出さないスタッフには、ご利用者様は思わず□元に手を当てて心配していらっしやいました。「あつあつおでん早食い競争」では、スタッフが熱いおでんを必死に我慢する姿にご利用者様は大笑いでした。最後は「叩いて被ってジャンケンポン、

ジャンケンに勝った方は相手の頭をピコピコハンマーで叩き、負けの方はボールを被って防ぎます。スタッフ全員が真剣勝負で叩き合う姿にご利用者様は更に大爆笑されていました。

「リラクゼーションマッサージのひと時」

今月スタートです! 新開設のマッサージコーナーで、エステティシャンによる本格的なリラクゼーションマッサージの開始です。事前にご利用者様の希望をお聞きして、先生に肩や腕・手をマッサージして頂きました。コロナウイルスの影響もあり、マッサージを利用される方々にはシールド・マスクを装着して頂き、周囲の物品も一人ずつ使用後には徹底して消毒させて頂きました。



施術後には皆様「気持ち良かった」「またお願いします」とご満悦の表情でした。

「敬老会の日 日頃の感謝を込めて...」



いつもお世話になっているご利用者様へ、日頃の感謝を込めて敬老会の日のイベントを行いました。感謝の日ということなので、以前のイベントで盛り上がりました「叩いて被ってジャンケンポン」「椅子取りゲーム」等のゲームをしました。

催し物を一通り終えた後は、感謝の気持ちを込めたプレゼントを渡し「ありがとう」と笑顔で喜んで頂きました。イベントの最後に、パウンドケーキにホイップクリームをトッピングしたスタッフお手製のおやつを召し上がって頂き「美味しいわ」「もっと無いの?」と大変ご満足して頂き、スタッフもその笑顔に癒されました。

八重の家通信 5

「そーしゃるさくら会」発足

西 裕聖子

毎週金曜日の午後のひととき、八重の家のリビングに有志の皆さんが集い「そーしゃるさくら会」が開かれます。まずは最初の活動として、六月からリアン(小型の手編み機)を用いてクッションを作製しています。この会では「そーしゃる(Social)社会の、(活動などが)福祉に関する」の名称のとおり単なる手芸の趣味の会にとどまることなく作品を通じて社会との繋がりを求めていきたいと考えています。

完成したクッションは、児童養護施設(宇陀市)、平城西小学校(奈良市)、そして施設からほど近い平城山駅のホームのベンチに寄贈します。寄贈式の様子等、機会がありましたら本誌にてご紹介させていただきます。

また、九月二十二日よりInstagramを開設いたしました。日常の風景をはじめ「そーしゃるさくら会」の取り組み等を発信いたします。この先もどうぞよろしくお願いたします。



デイサービス八重桜 朱雀

「ティッシュ箱ピラミッド崩しに挑戦」



今日は少し激しいレクリエーションをしました。ティッシュ箱を積み上げて、お手玉を投げて何個崩すかを競うゲームです。上半身を使うのでリハビリにはピッタリ。片手でも投げられるのでどんな方でも楽しめます。車いすのご利用者様からスタート、最初の一投目が真ん中に命中して派手な音を立てて崩れました。本人も意外だったのか目をパチクリさせていました。次は男性、さぞかし沢山崩すのだろうという期待の中、お手玉は真ん中に吸い込まれて箱の隙間を通り抜けて向こう側へ、〇点です。こうしてご利用者様に次々と投げいただき、笑いあり、声援ありの楽しい時間を過ごしました。

「ハロウィンの飾り工作を楽しみました」

今日はハロウィンの飾りに挑戦です。街中やテレビでもカボチャの飾りを見る機会が多くなりましたが、ご利用者様にはハロウィンはまだまだ馴染みがないようです。予め切って準備した何枚かの紙を貼り合わせてカボチャの形を作ります。殆どの方が初めてなので難しいようでしたが、一緒に丁寧に作業すると、段々とカボチャの形らしきものに変身していきました。そうなるかと、楽しさも加わって可愛いカボチャが次々と完成。そしてそれに素敵な顔を皆様で書き足しました。秋雨が降る中、朱雀館は熱気ムンムンでした。



「紙コップピラミッド作りでハラハラ・わいわい」



今日は、紙コップを積んでピラミッドを作るゲームで楽しみました。簡単そうに見えますが、実はバランス感覚が試される、結構難しいもの。大きなテーブルに、土台となる紙コップを十個並べます。そこから一段づつ積み重ねますが、二段目で倒してしまうご利用者様もいたりして、あちこちで大きな歓声が上がります。頂上まで並べると計五十五個の紙コップピラミッドになるのですが、男性利用者さまがお一人達成されて、拍手喝采を浴びておられました。ワイワイ・ガヤガヤと楽しい声が響き合う、朱雀館の午後のひと時でした。

デイサービス八重桜 押熊

「標的ゲームで荒野のガンマン」



「ワイルドガンマン」いわゆる緑白の射的ゲームですが、弾の先は吸盤なので今回ののはホワイトボードにしてみました。このほうが、的として広く使えゲームをされる方も確実に当たった感があるというものです。皆さん片目を閉じて息を整え、集中して狙っておられます。気分は荒野のガンマンといったところでしょつか？全ての弾を打ち終えると安堵の表情で現実に戻られ、にこやかな笑みを浮かべられるのでした。

「思い出となるウクレレコンサート」

以前にも何回かフルームレターで取り上げています、押熊職員によるウクレレ演奏会ですが、ウクレレ担当の職員が十月にオープンする西奈良館へ移動することになり、今回がラストコンサートということになりました。

担当の職員も今限りということと、自然と弦を弾く手にも気合が入ります。懐メロ、歌謡曲、唱歌とオンパレード。最後に皆様で「上を向いて歩こう」を合唱しました。コロナ禍の中でも心は上を向いていきたいですね。



「押熊喫茶店で手作りおやつのごちそう」



今回は、手作りおやつということでオリジナルあんみつを提供させて頂きました。夏の暑い盛りなので、見た目にも涼しい寒天ゼリーに、漉し餡、みかんにアイスクリーム、最後に黒蜜を回し掛けて完成です。ご利用者様は、いつもとは違う甘さ、食感に無言でスプーンを口に運ばれて、あっといふ間にごちそうさま。もうないの？や、あ〜美味しかったの声があちらこちらから聞こえてきます。昔は、よく食べたねえ・・・とお隣りの方とお話しが弾みます。職員もまた色々考えて懐かしいおやつを召し上がって頂きたいと思いました。

デイサービス八重桜 平城

「楽しい夏・秋の合同祭りの開催」



八月も終わる頃、一足遅い夏祭りとなりました。午前中は、スタッフが順々に、カラオケで自慢の声を披露する中、昔ながらの射的、玉入れ、金魚すくい。引き続きのビンゴゲームでは数字とのにらめっこの後、景品を手に「ツクリ」。昼食はスタッフと一緒に好み焼きをほおぼる楽しいひと時でした。午後は、盆踊りやスタッフによる二人羽織で一層雰囲気盛り上がり、童謡「村祭り」を全員で合唱。「今年も豊年満作で・・・」の光景は、やっぱり秋祭りですね。一足遅れた分夏と秋が重なり、ご利用者様とスタッフが一体の「夏・秋の合同祭り」となった楽しいイベントでした。

「みんなで共同したちぎり絵」

ちぎり絵は、色とりどりの紙を小さくちぎっていく作業から始まります。今回のテーマは、秋にちなんだ漢字の「紅」と「葉」で、大きな画用紙に書かれたこの二文字を、ちぎった色紙で浮かび上がらせていきます。文字の線からはみ出さない様に、一枚一枚、丹念に貼っていかねばならず、お一人おひとりの集中力と他の方々との連携が必要です。最後は、皆さまが心を一つにして出来上がった作品を掲げて、笑顔で記念撮影しました。どこからか童謡「もみじ」の歌声が聞こえ、皆様も一緒に歌われる中、秋の到来を感じさせるひと時でした。



「ご利用者様と一緒に祝う敬老の日」



毎年、スタッフ一同が人生の先輩であるご利用者様への感謝と尊敬の念を込めてお祝いする「敬老の日」です。今年も、十名もの方々が喜寿や米寿などの「長寿の祝い」を迎えられ、数え九十九歳の「白寿」の方もおられました。記念撮影の後は全員で「旅愁「ふるさと」」の歌を合唱。故郷の思い出の場所は、その人の心の中に残り続けます。歌を唄いながらお互いが感動しあい、皆さまとスタッフが年齢を越えた「共感」を感じ取る雰囲気生まれました。スタッフからご利用者様への尊敬、ご利用者様からスタッフへの信頼を分かち合えるイベントになりました。

夫婦で入居

西 勝康

十月一日にファミリーモア八重桜 西奈良館がオープンする運びとなりました。この有料老人ホームの特徴は全居室が二十五㎡の広さで二ベッドを入れても十分ゆとりがあります。それもあってかご夫婦での入居が二十九室中七戸もおいでのになります。

桜の広場

一般的な有料老人ホームでは二人入居できる部屋は多くないのが普通です。それは二人（夫婦）での入居者が集まりにくいために事業者側が二人用の居室を作らなければならないので、そもそも供給量が足りないのだと思います。世間では老々介護、認々介護が社会問題になっていくにもかかわらず何故人居希望が少ないのでしょうか。いくつか理由が考えられます。まず、夫婦どちらかが比較的自由度が高い場合、日常生活環境の変化を望まないこと。特に掛か

りつけの医療機関や馴染みのスーパーから遠くなることに抵抗があります。しかし何よりも夫婦で施設に入ると相当な経済負担が掛かるだろうという先入観があるでしょう。実際に高齢者無職世帯の可処分所得が年間二百万円弱であることを考えると従来の有料老人ホームでは一人分にしかありません。今回、八重桜では業界の常識を覆すような料金設定を提案しました。弊社では当たり前の「所得段階対応型料金制度」をご夫婦入居にも当てはめることにより、軽料金を実現した結果七組のご夫婦の入居となりました。全室の二十五%がご夫婦というのはいくらでもないことだと思います。これからも多様なニーズに応えられるように知恵を絞ってまいりたいと思います。

こころの遊歩道

疲れた人は、しばし路傍の草に腰を下ろして、道行く人を眺めるがよい。人は決してそう遠くはいくまい。

イワン・ツルゲーネフ（ロシア文学の文豪）



「日々の気付き」

新谷 友和



八重桜に入社し、早一年が経過しました。入社直後は不安や戸惑いも多かったですが、先輩方やスタッフの方々の協力もあり、日々の業務を少しずつ覚えていきながら働くことができています。休日には、自身の趣味等に時間を充てることのできるため心身ともにリフレッシュ出来ています。コミュニケーションをとることが難しいご利用者様、歩行時に見守りが必要なご利用者様など様々なご利用者様がいらつしやる施設であるため、反応や仕草などで気づかされることも多い日々であり、こちらからの働きかけで深く長く関係性を築いていけるのも特徴であり楽しみでもあります。日々のご利用者様の体調管理で気をつけている所として「いつもと違うな」と気付ける様に接していきたいと考えています。やはり朝夕のバイタルサインのチェックだけでは変化を見落としやすいからです。会話もその一つですが、初めは挨拶から始まり、天気の話、昔の話と様々です。一見、無駄話のように感じますが、回数を重ねるといつもより表情が暗い、声のトーンが違うな、元気がないなど何かしら違和感に気付くことがあります。そうした気付きから体調変化の早期発見、治療と向かう事もできます。今後もご利用者様と関係性を築き、体調変化に気付くことで日々安心して生活して頂けるように努めていきたいと考えます。

俳句教室発表句 (敬称を略します)

十五夜や 鈴虫の音を聞く 二人かな 山本 麗子

デートの思い出でしょうか？顔が緩みます

神輿かついで 秋祭り 皆で踊ろう 成松 保

お祭りの楽しさが伝わってきます

お月見の夜 虫の声

さんさんと聞えるうれしい夜だ 岩田 久子

暑い夏の終わりホッとするひと時ですね

いが栗の 宇宙徒競走 美味まで遠し 土田 瑞枝

栗を食べるまで、イガイガ、皮、渋皮と時間がかかりますね

そばはそばでも 私しや

あなたのそばがいい

鐘ヶ江 誠之

お楽しみランチの日「そば」で嬉しそうにこの句を言ってくれました

楽しみだ 施設で開く 運動会

毎年皆さま盛り上がっていますね、楽しみです

稲刈りか 今年も美味しく 頂きます

北田 カヨ子

お米は日本人の主食、本当に有難いですよね

おかげさまで予定どおり10月1日には約30名のスタッフも満を持して満室でオープンしました。今後ともよろしくお願ひします。

夫婦入居を見据えた環境づくり

- ・広めの居室(全室約25㎡)
- ・ミニキッチン標準装備
- ・介護はプロにお任せ(肉体的負担の軽減)
- ・たまには別室でひとりゆっくりと(レスパイトルームで精神的ストレスの緩和)
- ・併設デイサービスでは各々のプランで
- ・24時間のケアサービス体制

食事付き 月額 158,500円～166,000円 (介護保険自己負担は別途必要)



住宅型有料老人ホーム(デイサービス併設) **ファミリーモア八重桜 西奈良館**

所在地 〒631-0846 奈良県奈良市平松1丁目114

お問い合わせ先 **株式会社 八重桜**

0120-27-3205 (担当: 大堀)

受付時間 9:00～17:00